

輸出入・港湾関連情報処理システム E D I 仕様書

2023年 46 月 21 日

輸出入・港湾関連情報処理センター

目 次

1. データ送受信処理方式と接続形態	
1.1 データ送受信処理方式	1-1-1
1.1.1 インタラクティブ処理方式	1-1-2
1.1.1.1 インタラクティブ処理方式(パソコン用パッケージソフトを使用)	1-1-2
1.1.1.2 インタラクティブ処理方式 SMTP双方向 (ゲートウェイコンピュータを使用)	1-1-2
1.1.1.3 WebNACCS処理方式(Webブラウザを使用)	1-1-3
1.1.1.4 インタラクティブ処理方式 ebMS (ゲートウェイコンピュータを使用)	1-1-3
1.1.2 メール処理方式	1-1-3
1.1.2.1 メール処理方式(ゲートウェイコンピュータを使用)	1-1-3
1.2 利用者との接続形態	1-2-1
1.2.1 NACCSネットワーク	1-2-1
1.2.1.1 Peer to Peer接続	1-2-1
1.2.1.2 ルータ接続	1-2-1
1.2.1.3 ゲートウェイ接続	1-2-1
1.2.2 インターネット	1-2-2
1.2.2.1 netNACCS	1-2-2
1.2.2.2 WebNACCS	1-2-2
1.2.2.3 ゲートウェイ接続(ebMS処理方式)	1-2-3
1.3 接続形態とデータ送受信処理方式との関係	1-3-1
1.4 NACCSにおける情報の利用例と電文の追い越し例	1-4-1
2. ネットワーク構成	
2.1 ネットワークの概要	2-1-1
2.2 プライベートIPアドレス	2-2-1
2.2.1 プライベートIPアドレスの採用	2-2-1
2.2.2 プライベートIPアドレスの体系	2-2-2
2.2.3 IPアドレスとサブネットマスクとの関係について	2-2-3
2.2.4 NACCSセンターによるIPアドレスの付与	2-2-4
2.2.5 IPアドレスの付与単位	2-2-4
2.2.6 IPアドレスの付与ルール	2-2-5
2.2.7 利用者LANの構築パターン例(代表的な例)	2-2-6
2.2.8 IPアドレス変換について	2-2-13
2.2.9 故障時における責任分界点	2-2-15
2.2.10 NACCS掲示板とIPアドレス	2-2-16
2.3 NACCS接続ルータの概要	2-3-1
2.3.1 【削除】NACCS接続ルータ(専用線接続用)の外観と諸元	
2.3.2 【削除】NACCS接続ルータ(ADSL及びブロードバンド光接続用)の外観と諸元	

2.3.3	NACCS 接続ルータ（専用線 (0.5Mbps 以上) 及びブロードバンド光接続用） の外観と諸元	2-3-5
2.4	利用者コンピュータからNACCSへのアクセスについて	2-4-1
2.4.1	NACCSの各サーバへのアクセス方法	2-4-1
2.4.2	メインセンター～バックアップセンター間の切替について	2-4-1
2.5	利用者アクセス回線における冗長化構成について	2-5-1
2.5.1	冗長化構成の概要	2-5-1
2.5.2	冗長化構成における回線構成	2-5-1
2.5.3	冗長化構成における責任範囲	2-5-1
2.5.4	冗長化構成における留意点	2-5-2
3.	電文方式と構造	
3.1	NACCS EDI電文	3-1-1
3.1.1	NACCS EDI電文方式	3-1-1
3.1.2	NACCS EDI電文の電文構造	3-1-1
3.1.2.1	入力共通項目(処理要求電文)	3-1-3
3.1.2.2	電文方式規則	3-1-4
3.1.2.2.1	処理要求電文の電文方式規則	3-1-4
3.1.2.2.2	処理結果電文の電文方式規則	3-1-5
3.1.2.3	業務個別項目の入力方法	3-1-15
3.1.2.4	出力共通項目(処理結果電文)	3-1-16
3.2	MIME形式電文	3-2-1
3.2.1	EDIFACT電文	3-2-1
3.2.1.1	EDIFACT電文の電文方式	3-2-1
3.2.1.1.1	採用メッセージ	3-2-1
3.2.1.1.2	シンタックスルール	3-2-2
3.2.1.1.3	メッセージバージョン	3-2-2
3.2.1.1.4	メッセージの構造について	3-2-3
3.2.1.1.5	使用可能文字セット	3-2-4
3.2.1.2	EDIFACT電文の電文構造	3-2-6
3.2.1.2.1	入力(出力)共通項目	3-2-7
3.2.1.2.2	電文の送信単位	3-2-9
3.2.1.2.3	電文フォーマット	3-2-10
3.2.1.2.4	電文の処理方式	3-2-15
3.2.1.3	EDIFACT電文における受信確認	3-2-18
3.2.1.3.1	受信確認の時点	3-2-18
3.2.1.3.2	受信確認の手段	3-2-18
3.2.1.3.3	受信確認の通知	3-2-18
3.2.2	添付ファイル電文	3-2-19
3.2.2.1	添付ファイル電文の電文方式	3-2-19
3.2.2.2	添付ファイルの電文構造	3-2-19
3.2.2.3	実現方式について	3-2-20
3.2.2.4	処理シーケンスについて	3-2-21
3.2.2.4.1	インタラクティブ処理方式	3-2-21

3.2.2.4.2	WebNACCS処理方式	3-2-23
3.2.2.4.3	メール処理方式	3-2-24
3.3	XML形式電文	3-3-1
3.3.1	XML形式電文の電文方式	3-3-1
3.3.1.1	XML形式電文のフォーマット／バージョン	3-3-1
3.3.2	XML形式電文の電文構造	3-3-1
3.3.3	XML形式電文の送受信電文の種類	3-3-2
3.3.4	XML形式電文の電文仕様	3-3-3
3.4	電文の種類	3-4-1
3.5	各種電文制御項目	3-5-1
3.5.1	入力情報特定番号	3-5-3
3.5.2	電文引継情報、電文制御情報（分割通番、最終表示、電文種別）	3-5-4
3.5.3	継続処理(索引引継情報)	3-5-6
3.6	コード体系	3-6-1
3.6.1	文字コード体系	3-6-1
3.6.1.1	上り電文(処理要求電文)で使用する文字コード	3-6-2
3.6.1.2	下り電文(処理結果電文等)で使用する文字コード	3-6-5
3.6.2	文字化けについて	3-6-8
3.7	帳票電文テーブル及び取出し業務について	3-7-1
3.7.1	帳票電文テーブルについて	3-7-1
3.7.2	取出し業務について	3-7-1
3.7.2.1	SYG業務とは	3-7-3
3.7.2.2	REQ業務とは	3-7-8
4.	各処理方式の詳細	
4.1	インタラクティブ処理方式(パソコン用パッケージソフトを使用)	4-1-1
4.1.1	処理方式概要	4-1-1
4.1.2	通信プロトコルの詳細	4-1-2
4.1.3	業務処理シーケンス	4-1-3
4.1.3.1	INQ型電文の場合の業務処理シーケンス例	4-1-4
4.1.3.2	EXC型電文の場合の業務処理シーケンス例	4-1-9
4.1.3.3	EXZ型電文の場合の業務処理シーケンス例	4-1-11
4.1.3.4	添付ファイル電文の場合の業務処理シーケンス例	4-1-12
4.1.4	その他	4-1-13
4.2	インタラクティブ処理方式(SMTP双方向)	4-2-1
4.2.1	処理方式概要	4-2-1
4.2.2	利用者で守るべきインターフェース	4-2-2
4.2.3	通信プロトコルの詳細	4-2-4
4.2.4	電文構造	4-2-14
4.2.5	業務処理シーケンス	4-2-28
4.2.6	その他	4-2-30
4.3	メール処理方式	4-3-1
4.3.1	NACCS EDI電文によるメール処理方式	4-3-1
4.3.1.1	処理方式概要(EDIFACT以外)	4-3-1

4.3.1.2	通信プロトコルの詳細	4-3-2
4.3.1.3	電文構造	4-3-16
4.3.2	EDIFACT電文によるメール処理方式	4-3-278
4.3.2.1	処理方式概要(EDIFACT)	4-3-278
4.3.2.2	通信プロトコルの詳細	4-3-289
4.3.2.3	電文構造	4-3-423
4.3.3	メールボックス	4-3-4969
4.3.4	メールアドレス	4-3-534
4.3.5	業務処理シーケンス	4-3-578
4.3.6	その他	4-3-5969
4.4	WebNACCS処理方式(Webブラウザを使用)	4-4-1
4.4.1	処理方式概要	4-4-1
4.4.2	通信プロトコルの詳細	4-4-2
4.4.3	業務処理シーケンス	4-4-3
4.5	ebMS処理方式	4-5-1
4.5.1	処理方式概要	4-5-1
4.5.2	通信プロトコルの詳細	4-5-2
4.5.3	ebMS処理方式で使用するメッセージ	4-5-4
4.5.4	ebMS処理方式における設定情報	4-5-6
4.5.5	電文方式と構造	4-5-9
4.5.6	業務処理シーケンス	4-5-11
4.6	その他	4-6-1
4.6.1	e-mail	4-6-1
4.6.1.1	e-mailアドレスに対する主なチェックについて	4-6-1
4.6.1.2	e-mail送信について	4-6-1
4.6.1.3	e-mailで送信される情報について	4-6-2
4.6.2	添付ファイルについて	4-6-34
4.6.2.1	拡張子	4-6-34
4.6.2.2	ファイル名と形式	4-6-34
4.6.2.2.1	MSX、MSY01業務を実施する場合	4-6-34
4.6.2.2.2	MSX、MSY01業務以外を実施する場合	4-6-45
4.6.2.3	ファイル名の文字コード	4-6-45
4.6.2.3.1	MSX、MSY01業務を実施する場合	4-6-45
4.6.2.3.2	MSX、MSY01業務以外を実施する場合	4-6-45
4.6.2.4	ファイル名の文字化けについて	4-6-45
4.6.2.5	ファイル名の長さについて	4-6-4
5.	宛先管理	
5.1	宛先管理の概要	5-1-1
5.2	処理結果電文の宛先の設定	5-2-1
5.2.1	処理結果電文の出力パターンについて	5-2-1
5.2.2	出力宛先の設定について	5-2-35
5.2.3	二重出力機能について	5-2-57
5.2.4	出力先プリンターの設定	5-2-68

6. 管理資料情報取出について	
6.1 管理資料情報取出について	
6.1.1 配信方法	6-1-1
6.1.2 取得可能な利用者	6-1-1
6.1.3 取り出し方法	6-1-1
6.1.4 保存期間	6-1-2
6.1.5 ファイル形式及び使用する表計算ソフト	6-1-2
6.1.6 管理資料の分割	6-1-3
6.1.7 再配信方法	6-1-3
6.1.8 保税管理資料再出力依頼	6-1-4
6.1.8.1 再出力可能利用者	6-1-4
6.1.8.2 保存期間	6-1-4
6.1.8.3 再出力された管理資料の取り出し方法	6-1-4
6.2 管理資料情報取出手順(自社システムを用いた場合)	6-2-1
6.2.1 通信仕様	6-2-1
6.2.1.1 HTTP送受信仕様	6-2-1
6.2.1.2 管理資料情報取出のシーケンス	6-2-2
6.2.2 電文仕様	6-2-5
6.2.2.1 電文構造	6-2-5
6.2.2.2 各電文の設定内容	6-2-11
6.2.2.3 管理資料情報ファイル名体系	6-2-212
6.2.3 異常時の対処	6-2-234
6.2.4 その他	6-2-245
6.2.5 各種タイマー値	6-2-256
7. セキュリティ対策	
7.1 NACCSセンターハード	7-1-1
7.2 ネットワーク	7-2-1
7.3 資格チェック	7-3-1
7.3.1 ログオンチェック	7-3-1
7.3.2 メールボックスへのアクセス資格チェック	7-3-1
7.3.3 処理結果電文(帳票用)の取得資格チェック	7-3-1
7.3.4 業務資格チェック	7-3-1
7.3.5 複数業種を兼業する利用者のシングルサインオン	7-3-2
7.3.5.1 複数業種を兼業する利用者のシングルサインオン	7-3-2
7.3.5.2 メール処理方式におけるシングルサインオン	7-3-5
7.4 利用者のセキュリティ対策	7-4-1
7.4.1 利用者が行うセキュリティ対策	7-4-1
7.4.2 社外ネットワークとの接続に関するセキュリティ基準	7-4-56
7.5 netNACCS処理方式、WebNACCS処理方式及びebMS処理方式	7-5-1
7.5.1 NACCSセンター側のセキュリティ対策	7-5-1
7.5.2 通信のセキュリティ対策等	7-5-1

7.5.3 netNACCS処理方式接続例	7-5-32
7.5.4 WebNACCS処理方式接続例	7-5-54
7.5.5 netNACCS処理方式、WebNACCS処理方式 及びebMS処理方式利用時の注意事項	7-5-76
7.5.6 利用者側のセキュリティ対策	7-5-97
7.6 システム監査	7-6-1
8. 接続試験	
8.1 接続試験の概要と内容	8-1-1
8.2 NACCSへ新規に参加する場合の接続試験の準備等	8-2-1
9. 利用者による設定情報のオンライン変更	
9.1 利用者による設定情報のオンライン変更の概要	9-1-1
9.2 設定情報の初期設定～業務処理開始までの流れ	9-2-1
9.3 利用者による設定情報のオンライン変更の対象業務及び対象項目	9-3-1

付録

【NACCS EDI電文・EDIFACT電文共通】

付録1. 接続形態と処理方式に関連する事項（まとめ） 付録 1-1
付録2. データ送受信処理方式及び接続形態が混在した場合の接続の具体例 . 付録 2-1
付録3. システム構築の具体例 付録 3-1
付録4. アクセス回線とアクセスポイントについて 付録 4-1
(1) 専用線接続 付録 4-1

~~(2) 【削除】 ADSL接続 付録 4-1~~

(3) ブロードバンド光接続 付録 4-1
付録5. 処理結果電文等の詳細について 付録 5-1
(1) NACCS EDI電文 付録 5-1
① 処理結果通知電文及び出力情報電文（照会結果）のフォーマット . 付録 5-1
② 出力情報電文（照会結果を除く）のフォーマット 付録 5-2
③ エラー発生時における処理結果通知電文の出力形態について . . . 付録 5-3
(2) EDIFACT電文 付録 5-7
(3) XML電文 付録 5-7
(4) 継続処理となる業務について 付録 5-7

付録6. 各種コード 付録 6-1
1. 出力情報コード体系 付録 6-1
2. 処理結果コード体系 付録 6-3
3. 利用者コード及び識別番号等について 付録 6-11
付表6-7-1 対象業務一覧【凡例】
付表6-7-2 対象業務一覧【入出港・とん税関連業務】
付表6-7-3 対象業務一覧【輸入関連業務】
付表6-7-4 対象業務一覧【輸出関連業務】
付表6-7-5 対象業務一覧【輸出入共通関連業務】
付表6-7-6 対象業務一覧【輸入食品監視支援業務】
付表6-7-7 対象業務一覧【植物検疫関連業務】
付表6-7-8 対象業務一覧【動物検疫関連業務】
付表6-7-9 対象業務一覧【外為法関連業務】
付表6-8-1 出力情報コード一覧【凡例】
付表6-8-2 出力情報コード一覧【入出港・とん税関連業務】
付表6-8-3 出力情報コード一覧【輸入関連業務】
付表6-8-4 出力情報コード一覧【輸出関連業務】
付表6-8-5 出力情報コード一覧【輸出入共通業務】
付表6-8-6 出力情報コード一覧【輸入食品監視支援業務】
付表6-8-7 出力情報コード一覧【植物検疫関連業務】
付表6-8-8 出力情報コード一覧【動物検疫関連業務】
付表6-8-9 出力情報コード一覧【外為法関連業務】
付表6-9-1 民間管理資料情報一覧【凡例】
付表6-9-2 民間管理資料情報一覧

付録7. 多数件処理業務について 付録 7-1
(1) 分割処理<パターン1> 付録 7-1

※本書では下記名称について略称にて表記する。

NACCSセンター：輸出入・港湾関連情報処理センター

商標：Microsoft、Windows、その他のマイクロソフト製品の名称及び製品名は、米国Microsoft Corporation の米国及びその他の国における商標または登録商標である。Pentiumは、Intel Corporation の登録商標である。その他の製品及び会社名は、各社の登録商標または商標である。